

第49回関西社会人ゴルフ選手権予選

【と き】2026年7月16日（木）

【ところ】ザ・カントリークラブ

＜主催＞スポーツニッポン新聞社

＜後援＞関西ゴルフ連盟、毎日新聞社

＜協賛＞アサヒビール、住友ゴム工業

ローカルルール

- アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
ただし、現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他のホールに止まった球はアウトオブバウンズの球とみなす。
- 修理地は白線によってその縁を定める。
- レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。線と杭が併用されている場合は線がその縁を定める。
- ジェネラルエリアにある排水溝はジェネラルエリアにある動かせない障害物とする。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 規則 10. 3a は次のように修正される：プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。
ローカルルールの違反の罰：
 - そのプレーヤーはそうしたキャディーに援助してもらった各ホールに対して一般の罰を受ける。
 - 違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。
- 規則 5. 5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。
 - 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
- プレーの中断および再開は、カート無線によって伝えられる。（規則 5. 7b 参照。）
- プレーヤーの球が張芝の継ぎ目の中にあるか、触れている場合、あるいは継ぎ目がプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合：そのプレーヤーは規則 16. 1b に基づいて救済を受けることができる。しかし、その継ぎ目がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。救済を受けるときは、張芝の区域の中のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目として扱われる。そのことは、球をドロップした後どの継ぎ目であってもプレーヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から1クラブレングス以内にある場合でも、そのプレーヤーは規則 14. 3c (2) に基づいて要求されるように処置しなければならないことを意味している。※7、8、14、16 番ホールの 2. 5m 格の張芝部分においても、このローカルルールを適用する。
 - ローカルルールに違反して誤所から球をプレーした事に対する罰：規則 14. 7a に基づく一般の罰。
- 修理地の白線で囲まれた区域とその区域につなげられた人工の表面を持つ道路や通路は、規則 16. 1 に基づいて救済を受ける場合、一つの異常なコース状態として扱われる。

注 意 事 項

- ラウンド中の乗用ゴルフカートの使用を認める。
- 練習は指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱（30球）を限度とする。利用する際は、必ずサイン、チェック等すること。
- ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。なお、部外者のコース内立ち入りは禁止する。
- 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
- ローカルルールに追加、変更のあるときは、大会受付場所付近に告示する。
- コース内は、携帯電話の使用をしないこと。
- 競技中に発生した疫病や紛失、破損、その他の事故等に際し、主催、協賛、運営、後援、協力等の各団体は一切責任を負わない。
- ティーマーカーは、一般クラスは黒色、シニアクラスは青色とする。